

目指すべき市民活動拠点に必要な機能・役割とは

いろいろな情報があつまり新しいネットワークにつながる拠点

つながりが
生まれる拠点

ImpactHub

①ネットワーク構築のための交流空間

くつろぎの空間として利用し、いろんな分野の人が気軽に集い、つながっていけるオープンスペース(インパクトハブ)の整備

②活動場所や事務機器の提供

貸スペースや事務所機能などの設備の提供とその支援、ワーキング的活動環境

③コーディネート、コンサルティングの実施

人、団体、組織、市の事業などと必要に応じて効果的につなげるコーディネートを行う仕組み

ひろがり
を
創り出す拠点

Design thinking

④学びや気づきの機会の提供

講座やセミナーの実施、調査・啓発等の実施、既存の講演等の効果性の向上にむけた助言、デザイン思考へのアプローチ

⑤担い手育成・スキルアップ支援

後継者やリーダーなど人材育成のための研修や研究・体験等の機会提供、ピアレビューの実施

⑥運営支援・コミュニティビジネス支援

NPO等の設立支援、民間や市の補助金(助成金)情報の提供、コミュニティビジネス化やインキュベーション(起業・育成)支援

多様性・柔軟性
に満ちた拠点

豊かな暮らしのために

⑦市民活動の窓口的支援と相談援助

地域活動を始めるきっかけの提供、活動の相談や援助、悩みの傾聴、エンパワーメントの実施

⑧豊かな文化と多彩な暮らしの充実

楽しみの共有・共感、やりがいの維持、興味の発掘や共感を広げる支援、やりたいことを受容と長く続けるための支援、国際理解やおもてなしの推進

⑨様々な主体との協働や公民連携の推進

産・官・学・金・労・言や若者など新たな主体とのまちづくりの幅を広げた協働やパートナーシップの推進、既存事業への政策提言の実施

外部への発信力
のある拠点

情報をめぐらせる

⑩情報の収集・一元化・提供・発信

情報が循環する仕掛けと環境づくり、市内の市民活動状況が様にわかり市民が共有できる仕組み、市外への情報提供

地域に出向き
ともに地域を
つくる拠点

アウトリーチ
(訪問支援)型
の中間支援

- ・拠点機能を備えた中間支援組織が地域に出向く。
- ・地域のニーズ・実情にあわせてまちづくり活動を地域とともにを行い、現地をプロデュース。
- ・地域の人がまちづくり活動に興味を持ち、自ら活動を始められるようなきっかけの提供を実施。
- ・情報をまちに持ってでかけることで、すみずみまで届ける。
⇒まちづくりの裾野をひろげ、地域の市民活動のステップアップを行うことで一つの活動の活性化を目指す。